

ヒメミズカマキリ

Ranatra unicolor Scott

カメムシ目タイコウチ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

なし

選定理由

平野部を中心に全国的に生息地が減少傾向にある。県内でも局所的に分布し、最近の確実な生息地は約10箇所であり、生息環境の悪化している場所も少なくない。

形態

体長（呼吸管を除く）は24～32mm。体色は淡褐色～淡黄褐色で、前脚腿節の突起は歯状で中央付近にある。呼吸管は体長の2/3程度であり、前翅より明らかに短い。

国内分布

北海道、本州、淡路島、四国、九州、琉球列島。

県内分布

加賀市、小松市、かほく市、羽咋市、志賀町、中能登町、珠洲市の約10箇所で確認されている。

生態

産卵期は6～7月。卵はヒシやジュンサイなどの浮葉植物の組織内に産み付けられる。8月頃に新成虫が出現する。幼虫、成虫ともに水生昆虫などの体液を吸収する。水中では浮葉植物や抽水植物の間で静止していることが多い。水中で越冬する。

生息地の条件

平野部～丘陵部の、植生の豊富で比較的深い潟湖、池沼、ため池。

生存の危機

池沼の開発、埋め立てによる消失、ため池のコンクリートなどによる護岸化、管理放棄、生活排水や農業の流入、ゴミの投棄による水質汚染、外来種の侵入が脅威となっている。河北潟では、オオクチバス、ブルーギルが侵入し、加賀市片野鴨池では、オオクチバス、アメリカザリガニの侵入後に本種の減少傾向が著しい。羽咋市三日月池は一部が埋め立てられたため、開発の防止が必要である。

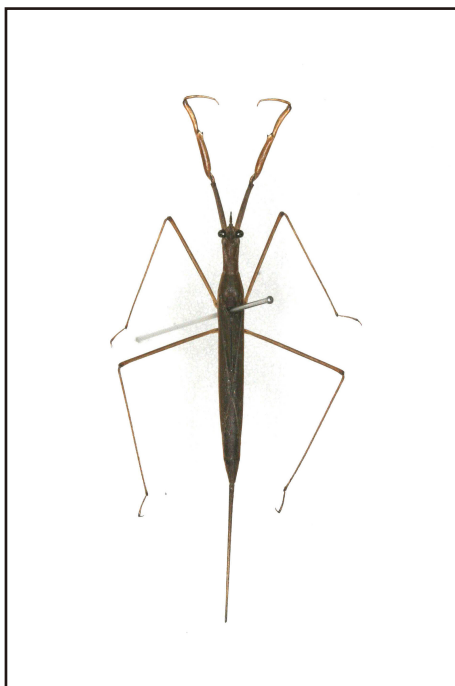
(A, B, C)

参考文献

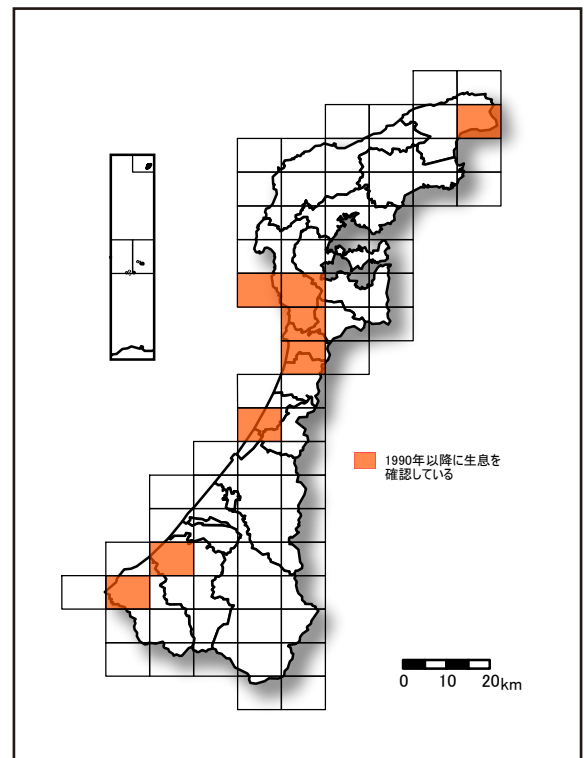
Ban Y 1981. Some observation on the life cycle of the water scorpion, *Ranatra unicolor* Scott (Hemiptera: Nepidae) in Yamanoshita Bay, Lake Biwa. Verh Internat Verein Limnol, 21:21-1625.

富沢 章 2006. 中能登町(旧鳥屋町)春木で得られた昆虫類 とっくりばち, (74) : 61-64.

平嶋義宏ほか 2008. 新訂原色昆虫大図鑑 第三巻. 北隆館. 東京.



標本提供者: 富沢章



県内の分布